



展示会出展の様子

- 本社所在地：
北海道札幌市東区北23条東2丁目1番2号
- 事業概要：
ドローン及びアンチドローンシステム、
搜索救助システム販売、点検保守、検証
、トレーニング
- 常時使用する従業員：9名
(2026年6月時点)
- 現在の売上高：16億円
(2025年9月期)
- 法人番号：9450001012552
- Web：<https://robotics-centre-japan.co.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
キング・スティーブン・
デイヴィッド

世界に羽ばたく Made in Hokkaido

当社は、欧米諸国の最新技術を駆使したドローン及びアンチドローンシステムを日本国内にて販売、提供をするため2018年に北海道旭川市で創業しました。弊社の取扱うシステムは、高度な安全対策が求められる現場にも度々導入され、お客様に寄り添った提案とサポートを積み重ねることで、着実に信頼と実績を積み重ねてまいりました。安全保障に不安を抱く昨今の時勢および事業拡大とともに、札幌市に本拠地を移し、横浜市に営業所を構え、より迅速にお客様へサービスの提供ができるような体制を築きました。今後は、国内での需要が益々高まることが予想され、サプライチェーンリスクを低減し、必要な製品を安定的かつ迅速に供給できる体制を構築することは、国内産業や安全保障の観点からも、重要であると考えます。一日でも早く国内製造工場の新設を実現し、輸出ビジネスへの事業拡大とともに100億円企業への成長を通じて、北海道から羽ばたくテクノロジー企業としてさらなる挑戦を続けてまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

現在の主力であるアンチドローン事業における売り上げを向上させながら、ドローン生産能力確保への設備投資により、国内及び国外ドローン販売での売上を拡大させ、2035年には売上高100億円の達成を目指す。

(※別紙にてグラフ表示)

課題

- 人材不足（製造・保守・トレーニング）
- 工場・倉庫建設（札幌近郊）
- 電波暗室・トレーニング施設設置（工場と併設）
- 海外販路拡充（国内生産品の輸出販売）
- 品質保証体制構築（納品前検査・納品後のアフターサポート）
- 代理店、サプライヤーとの連携強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

技術革新のスピードが極めて速い業界特性を踏まえ、産学連携を軸としたR&D専門組織を設置し、研究開発への積極的な投資を継続する。

あわせて、北米・中東・欧州のネットワークを最大限に活用し、海外展示会への出展を積極的に展開する。輸入ビジネスを継続しつつ、輸出にも取り組み、双方を組み合わせた事業モデルへの転換を図る。

「Made in Hokkaido」の製品を世界へ届けることで、日本が誇る品質と技術力をグローバルに発信し、ひいては北海道の地方創生に貢献していく。

実施体制

1. 人材育成・教育体制の強化
2. 組織体制の構築
3. 財務・運営基盤の強化

(※詳細は別紙に記載)

売上高100億円実現の具体的措置(実施体制) 詳細

実施体制

1. 人材育成・教育体制の強化

- ・ 社員の資格取得を全面的に支援し、専門性の向上を図る。
- ・ 情報セキュリティ教育を徹底するとともに、VRを活用した新たな教育・サポート体制を構築する。

2. 組織体制の構築

- ・ 「製造 → 販売 → アフターサポート」を一気通貫で担える組織体制を整備する。
- ・ 全国主要エリア（九州・四国・関西・関東）にサポート拠点を配置し、組織力を強化する。
- ・ 現在の9名体制から50名規模への増員を計画し、多言語対応可能な人材育成を進める。

3. 財務・運営基盤の強化

- ・ 金融機関との持続的な信頼関係を構築し、密接な連携体制を築くことにより、用地確保・設備投資・仕入までの一連の運用を円滑に進められる態勢を整える。

